

地域貢献宣言

～つい最近まで、私たちの暮らしの中に近所の人たちが集まって親睦を深めたり、子どもたちが自由に遊べる空き地や原っぱがいたるところにあった。地域コミュニティーや遊びの時間・空間は、連帯感や助け合い、いたわりの精神を醸成し、横のつながりだけでなく世代を越えたもの育んできた～

21世紀を迎えた現在、受験戦争の過熱化、いじめや不登校の問題、学校外での社会的経験不足など、豊かな人間性を育むべき時期の子どもたちを取り巻く生活環境は激変し、地域社会や学校・家庭教育の有様が問われはじめています。また、人間関係の希薄化で隣近所のつきあいも昔のようにままならぬ時代になっています。

このような状況を踏まえ、総合型スポーツクラブとして旗印を掲げ、サッカーを中心とした他のスポーツ活動、山登り等の体験経験活動を通して少年少女の人間として調和のとれた育成を目指す活動を展開していきます。また、地域やクラブの実態及び少年少女の心身の発達段階や特性を十分に考慮して、適切な指導課程の編成、活動環境の整備の充実を図り活動を行っていきます。

また、年齢・性別を問わず、たくさんの人たちが集まれるイベントなどを催し、そこで自己を確立し豊かに生きるための環境・場の提供を行っていきます。

尚、『VAMOS福島』の名称は、小さな地域にこだわらず、福島県全域の人たちがVAMOS＝がんばろう！という活力あるクラブを目指す思いで付けられました。

クラブには、健康のためにスポーツを楽しむ人、友達作りに訪れる人、競技力を上げ更に上のレベルを目指す人などそれぞれ様々な目的を持った人が大勢集まってきます。「それぞれのレベルにあわせた手ほどきをする。」それが我がクラブの方針です。このような環境が生活地域に存在することで、スポーツが一人一人の生活にとけ込み『文化』として育まれていくのだと思っています。『地域に根ざしたトータルコミュニティークラブ』を実現するには、クラブを核に、市民・行政・企業の三位一体となった協力体制を確立し、誰もがあこがれそして誰もが安心できる“コミュニティ”を構築していくことが大切と考えました。

本クラブのテーマは、【スポーツや様々な体験や経験を通じて豊かに生きる】です。21世紀を生きるこの県南地区の子どもから高齢者・障害を持つ人々、あらゆる人々が豊かな体験を通して目的に応じた「達成感」を満喫できる環境を提供していきたいと思っています。

私たちは、このような街づくり、環境作りを市民レベルで推進し、一日でも早く、一人でも多くの人々の豊かな生活を支援できる街が実現できるよう、

- ①健康増進及びスポーツ振興を目的とするイベントの開催
- ②健康増進及びスポーツ振興を目的とする教室・講演会の開催
- ③サッカーチーム等々の運営事業
- ④21世紀の未来を担う福島の子供たちのための体と心の復興支援活動（保育園・幼稚園への指導者派遣）
- ⑤白河市主催エンジョイ！フットサル教室への指導者派遣
- ⑥その他クラブの目的を達成するために必要な事業の実施

等の事業に総力を挙げて取り組んでいきます。

3. 11東日本大震災が発生してから13年、全国的には復興復旧が果たされ、【震災は過去のこと！】になっているような気がします。しかし、ここ福島県は、他の被災地と違って原発事故による影響が甚大に残っており、13年が過ぎた今でも故郷に戻れない人たちが30000人以上もいるのが現実です。まさに、【震災は現在進行形！】なのです。1日も早い真の復旧復興を願うばかりですが、現実問題としては、原発廃炉まで約40年と言う途方もない年月を要するのが現状です。実際には100年以上掛かるとも言われています。そんな福島に暮らす子供たちが、21世紀の福島の日本の未来を担う子供たちが笑顔いっぱい元気いっぱいに暮らせるように、様々な活動を展開し、その活動に全身全霊を傾けていきたいと思っています！！

福島の再生なくして日本の復興はない！

ただし、そんな逆境を余儀なくされているのは福島だけではありません。長きにわたって日本を世界を震撼させたコロナが漸く終息し、よし！これから！！と言う時に、新年早々に北陸地方を襲った大地震。津波・地震etcにより破壊された街の姿に13年前の恐怖が一瞬にして脳裏をよぎり震えが止まりませんでした。世界に目を向けると様々な場所で紛争が巻き起こり目を覆いたくなるような惨劇に心が痛みます。全ての地に全ての人たちに平和な時が訪れることを切に願いながら我がクラブは今年度も与えられた使命に全身全霊を傾け全うして行こうと思っています。

VAMOS福島！VAMOS北陸！VAMOS日本！VAMOS世界！VAMOSみんな！